みんなで取り組む 千葉の教育

県教委 NEWS

〔発行者〕千葉県教育庁企画管理部教育政策課
〒260-8662 千葉市中央区市場町 1-1
電話　043-223-4015

Vol.270
２月号
令和３年２月発行

「教職員のための児童虐待対応の手引き」（冊子版）が完成しました。

実践的な研修の実施を目指して

令和元年11月に改訂した「教職員のための虐待対応の手引き」に、具体的なケースを想定した事例集や校内研修資料を加え、冊子版として、各学校や市町村教育委員会等に配付しました。

新たに加えました！

【校内研修資料・事例集】

○千葉県教育委員会作成の、教職員のための児童虐待対応の手引き、リーフレットを活用した校内研修資料として作成
○１項目、２０～３０分で実施でき、各学校が実態に合わせて研修項目を選択できるように構成
○令和２年１月に文部科学省が作成した「学校現場における虐待防止に関する研修教材」を活用した研修資料を掲載
○千葉県教育委員会作成の事例集を活用した研修資料を掲載

加筆しました！

【本　編】

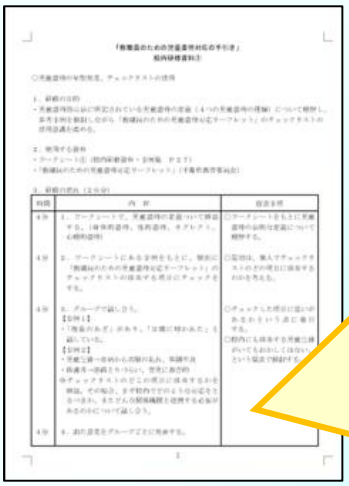
○児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）の改正に伴う内容（「親権者の体罰禁止」、「学校、教育委員会の守秘義務」）
○障害のある子供や保護者への理解に関する内容
○在宅支援時の、関係機関との情報共有や援助への協力に関する内容
○関係機関との円滑な連携に関する内容

この件についての問合せ先
教育振興部児童生徒課
電話
043-223-4066

「教職員のための児童虐待対応の手引き」の詳細はこちらから
https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/jisei/jinkennkyouiku/gyakutaitebiki.html

校内研修資料について

《校内研修資料》



項目ごとに選択可能

指導案形式で作成しており、児童虐待に関する内容を、それぞれの実態に合わせて研修項目を選択し、研修ができるようになっています。

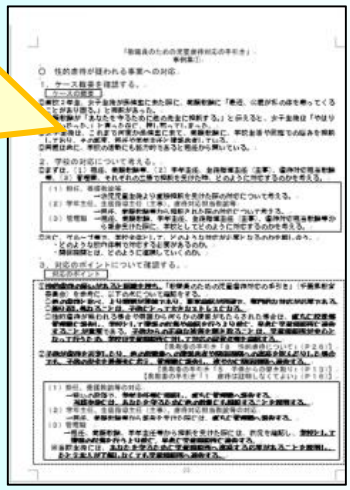
- 校内研修資料①（児童虐待の早期発見、チェックリストの活用）
- 校内研修資料②（学校が通告を判断するに当たってのポイント、発見から通告までの対応の流れ）
- 校内研修資料③（関係機関の役割と連携）
- 校内研修資料④（児童虐待関連法規）
- 校内研修資料⑤（「学校現場における虐待防止に関する研修教材」（文部科学省）の活用の仕方①）
  〔虐待対応ケースを活用した研修〕
- 校内研修資料⑥（「学校現場における虐待防止に関する研修教材」（文部科学省）の活用の仕方②）
  〔ロールプレイングによる研修〕
- 校内研修資料⑦（千葉県教育委員会作成、事例集の活用方法）
- 校内研修資料⑧（子供の人権）

独自の事例集

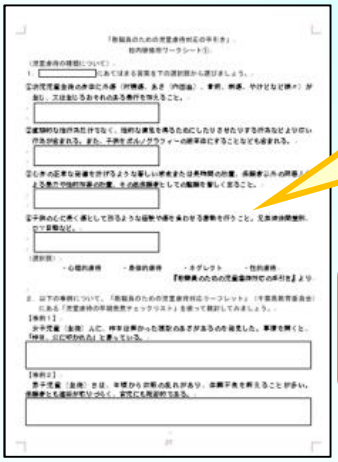
千葉県教育委員会で、独自に作成した事例集となります。校内研修資料⑦では、事例集①～③を活用した研修内容を記載しています。

- 事例集①（性的虐待が疑われる事案　※設定場面：高校）
- 事例集②（子供が帰宅を拒否しているとき　※設定場面：小学校）
- 事例集③（要保護児童への長期休業明けの対応　※設定場面：中学校）

《事例集》



《ワークシート》



研修に合わせて活用できます！

ワークシートは、①～⑧まであり、校内研修資料①～⑧のそれぞれの項目に合わせて活用できるように作成しました。

各学校での校内研修や各教育委員会等が主催する研修等で、活用できる研修資料です。

この件についての問合せ先　教育振興部児童生徒課　電話　043－223-4066

目次へ

インデックス＆ミニ・トピックス

インデックス（目次）をクリックすると対象のページへジャンプします。

インデックス（目次）	頁
「教職員のための児童虐待対応の手引き」について	1, 2
インデックス＆ミニ・トピックス	3
教育委員会会議報告	4
県内学校ミニ・ニュース（千葉県立長生特別支援学校）	5
日本マイクロソフトと連携協定を締結	6
令和２年度「千葉県オリンピック・パラリンピックを活用した教育」地域ワークショップ（実践研修）	7
アビリンピック千葉２０２０第１８回千葉県障害者技能競技会	8
全日本中学生水の作文コンクール募集	9
イベント情報	別冊

「児童生徒会選挙を活用した主権者教育」の実施　（12 月 17 日）

県立矢切特別支援学校は、知的障害のある小学部から高等部までの児童生徒 154 名が学ぶ学校です。

去る 12 月 17 日、児童生徒会選挙を活用して、松戸市選挙管理委員会の協力の下、本格的な選挙について学ぶ主権者教育を行いました。

高等部の生徒は、本物の投票箱を利用して選挙を行うとともに、自書できない人が代理人によって投票内容を記載する制度である「代理記載制度」を実際に体験しました。

詳しくは、こちら↓

https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-2020/201217-2.html

各学校のウェブページから「県教委ニュース」へのリンクをお願いしています。バナーもご活用ください。

◎さらに情報をお知りになりたい方、ご意見のある方は、次のアドレスにアクセスしてください。

県教育委員会ウェブサイト　：http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/index.html
フォトニュース　：http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-2018.html
ご意見・ご提案メール：https://www.pref.chiba.lg.jp/form/kyouiku_iken_kyouiku/form.html

<アンケート>

県教委ウェブサイトを使いやすくするためのアンケートにご協力ください。（ここをクリック）

令和２年度第１０回千葉県教育委員会会議（定例会）の内容について

開催日　令和３年１月２０日（水）　議案及び報告は以下のとおりです。

≪ 審議事項 ≫

（ 議 案 ）

第６４号議案	千葉県教育委員会補助金等交付規則の一部を改正する規則の制定について
第　８　号報告	教育委員会所管に係る令和３年度当初予算案について
第　９　号報告	教育委員会所管に係る令和２年度２月補正予算案について
第１０号報告	市町村立小学校長の人事について
第６５号議案	千葉県学校職員定数条例の一部を改正する条例の原案について
第６６号議案	教育庁等職員の懲戒処分について
第６７号議案	学校職員の懲戒処分について
第６８号議案	学校職員の懲戒処分について
第６９号議案	学校職員の懲戒処分について
第７０号議案	学校職員の懲戒処分について

［ 問い合わせ先：０４３－２２３－４００４　企画管理部教育総務課 ］

ホームページ　http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/soumu/press/2020/030120-2.html（第１０回結果）

◆◆◆◆◇◇◇◇ 教育長及び教育委員の紹介 ◇◇◇◇◆◆◆◆

（令和２年１２月２５日現在）

澤川　和宏
教育長

井出　元　委員
（教育長職務代理者）

岡本　毅
委　員

貞廣　斎子
委　員

花岡　伸和
委　員

永沢　佳純
委　員

令和２年１２月２５日に岡本 毅（おかもとつよし） 氏が再任され、永沢佳純（ながさわかすみ）氏が新たに就任しました。

千葉県教育委員会は、教育長及び５人の委員をもって組織し、教育行政の運営に関する重要事項や基本方針を教育委員会会議で決定しています。

目次へ

県内学校ミニ・ニュース（千葉県立長生特別支援学校）

地域と連携した　令和2年度 ぼうさい甲子園
防災教育 ➡ 優秀賞

本校は、海と緑に囲まれた自然豊かですばらしい学習環境にあります。

一方で、海岸から４００ｍ海抜５ｍという立地のため津波の脅威から命を守る防災計画の改善が毎年の課題です。

小学部・中学部・高等部の各学部で、児童生徒の発達段階に合わせた防災教育を創意工夫して取り組んでいます。全校では、ミニ避難訓練も含めた津波からの避難訓練を年間１０回程度行っています。

今年度は、１０００か所ミニ集会で講師をお願いした千葉科学大学危機管理学部の藤本一雄教授からの助言を受けて、防災計画の見直しを図りました。

訓練の実施については、新型コロナウイルス感染防止に留意して、学部ごと、学級ごとの分散訓練としました。ミニ集会は、参加者数を制限して１１月２５日（水）に、「九十九里・外房地区に１０ｍ級の大津波警報が発令されたら、本校と地域はどのような対応をとったらよいか」というテーマで開催しました。保護者の他に地域の行政（防災担当）、放課後等デイサービス、消防の方々にパネリストとして参加していただき、パネルディスカッションを行いました。地域の連携による公助のあり方や、ブラインド型避難訓練（詳細なシナリオ提示と予告なしで行う訓練）による住民一人一人の自助意識の高揚について話し合われました。

長生特別支援学校 YouTube チャンネル
ラップ♪防災　いってみよう!!

新型コロナウイルスを恐れてばかりではなく、どうしたら安心安全に楽しく学べるかをテーマに取り組みました。新しい生活様式に臨む心構えを歌いました。

「みんなで学ぶ地域防災」のテーマから小３時代に発表した「ＴＳＵＮＡＭＩ」を思い出しました。一宮町民共通課題の津波について再び歌いました。

目次へ

学校におけるICT利活用の推進に向けて

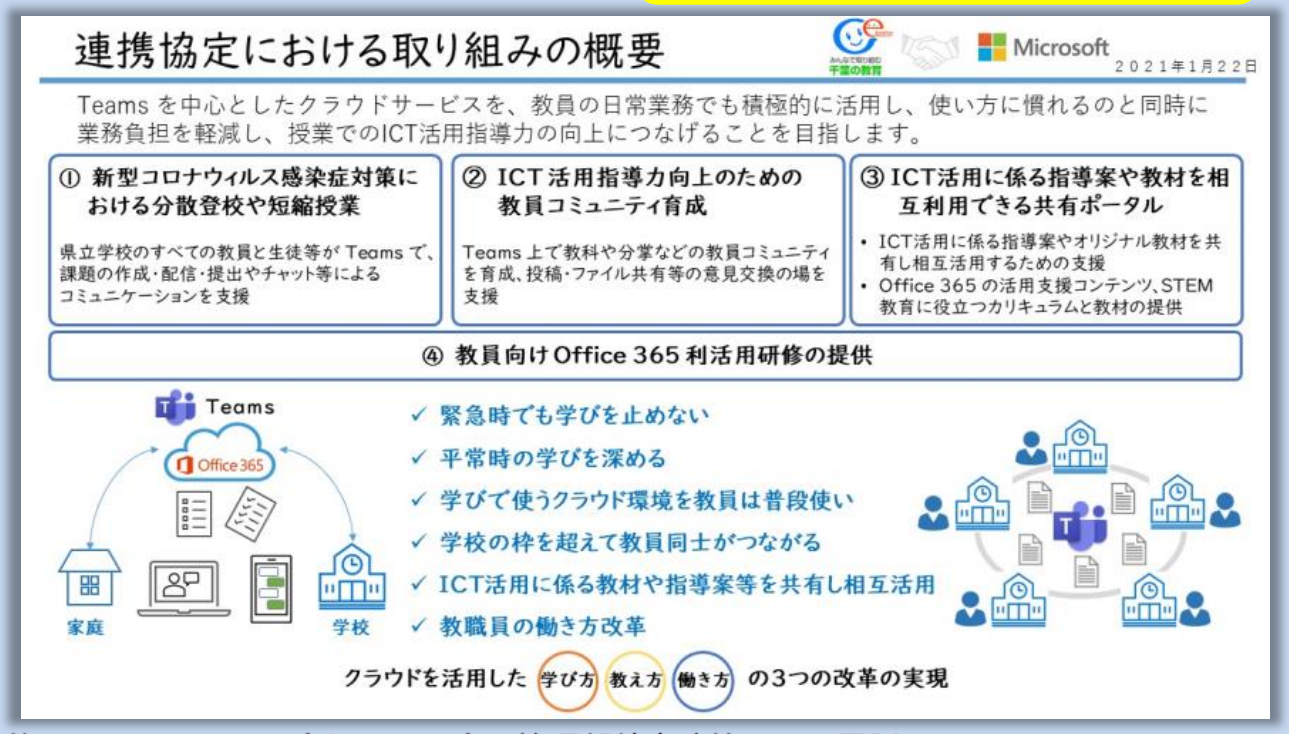
日本マイクロソフトと連携協定を締結

令和３年１月２２日（金曜日）、県教育委員会は、日本マイクロソフト株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：吉田　仁志、　以下、日本マイクロソフト）と県立学校の生徒等が学びの質を高め、情報活用能力を高めるためのＩＣＴ利活用の推進に資する協定を締結しました。日本マイクロソフトの協力を得ながら、教員一人一台校務用パソコンで使用するクラウドサービスを日常業務でも積極的に活用するとともに、各教科でＩＣＴの特性を生かした効果的な学習を行うための取組を推進します。

【県教育委員会初オンラインによる協定締結式】
電子署名された協定書を披露し、画面越しに握手をする日本マイクロソフト佐藤亮太執行役員常務と澤川和宏教育長（撮影時のみマスクを外しての記念写真です。）

【オンライン電子署名】
デジタルペンで協定書にサインする澤川教育長

【記者会見】
その場にお集まりの記者様とオンライン参加の記者様から、たくさんの質問をいただきました。



この件についてのお問い合わせ　　企画管理部教育政策課　　電話　０４３－２２３－４１７８

「千葉県オリンピック・パラリンピックを活用した教育」地域ワークショップ（実践研修会）開催

教職員と市町村教育委員会職員を対象に、日本財団パラリンピックサポートセンターの協力を得て、実践研修とオリンピック・パラリンピック教育推進校による実践事例報告会をリモートにより開催しました。

１月１８日から教育事務所毎に５回実施し、合計約１８０名の参加がありました。

小中高向け出前授業「あすチャレ！ジュニアアカデミー」のオンライン版体験（パラ・パワーリフティング選手　山本 恵理氏　による実践研修）

＜参加者の声＞

- 初めてリモートの研修に参加しました。コロナ禍での実施は非常に効果的だと実感できました。
- 学校の子どもたちにも体験させてあげたい内容でした。

Web 会議ツールを活用し、参加者の方も発言や反応ボタン・チャットにより、双方向のコミュニケーションを取りながら実践研修を実施しました。

オリンピック・パラリンピック教育推進校による実践事例

市原市立京葉小学校
（車イスバスケットボール体験）

県立千葉南高等学校
（花笠音頭によるおもてなし）

流山市立常盤松中学校
（学校周辺の環境美化活動）

浦安市立見明川小学校
（海外の学校とオンライン交流）

秀明大学学校教師学部附属
秀明八千代中学校･高等学校
（書道で国名掲示）

香取市立
佐原第五中学校
（オリパラを題材に調査した内容をプレゼン）

県立桜が丘特別支援学校
（他県の学校とオンライン交流）

山武市立蓮沼中学校
（花によるおもてなし）

県立東金特別支援学校
（オンライン ボッチャ大会）

６５校の推進校から代表して９校が発表しました。

この件についての問合せ先　　企画管理部教育政策課　電話　０４３－２２３－４１７７

目次へ

第18回千葉県障害者技能競技大会

アビリンピック千葉2020

特別支援学校の生徒が活躍！

県内４校の特別支援学校から３０名が参加し、１１名が入賞しました！！

白熊　真友さん
（市原特別支援学校つるまい風の丘分校）
「風の丘分校で掃除の楽しさ、やりがいを知り、大好きになりました。友達や先生方のおかげで入賞することができました。」

渡邉　尚人さん（特別支援学校流山高等学園）
「とても緊張しましたが、日々の専門実習の成果を出せることができて嬉しかったです。」

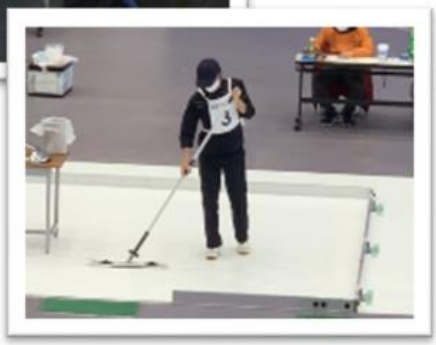
＜特別支援学校の入賞者一覧＞

【パソコンデータ入力部門】
銀賞　特別支援学校流山高等学園　野里　和将さん
銀賞　特別支援学校市川大野高等学園　角田　旅人さん

【製品パッキング部門】
銀賞　特別支援学校市川大野高等学園　高岡　京介さん
銀賞　特別支援学校市川大野高等学園　近藤　翔太さん

【ビルクリーニング部門】
金賞　市原特別支援学校つるまい風の丘分校　白熊　真友さん
銀賞　市原特別支援学校つるまい風の丘分校　田辺　大樹さん
銅賞　印旛特別支援学校さくら分校　井上　匠さん
銅賞　特別支援学校市川大野高等学園　伊藤　才恭さん

【喫茶サービス部門】
金賞　特別支援学校流山高等学園　渡邉　尚人さん
銀賞　特別支援学校市川大野高等学園　伊藤　信幸さん
銅賞　特別支援学校流山高等学園　小美濃　汐織さん



障害者技能競技大会（愛称：アビリンピック）とは？

障害のある方々が、日頃培った技能を競う大会です。障害のある方々の職業能力の向上を図り、企業や社会の人々の理解を広げ、雇用の促進につなげることを目的としています。

金賞受賞者は全国大会に出場します。世界大会も実施されています。

アビリンピックの技能競技種目

ワード・プロセッサ	パソコンデータ入力
喫茶サービス	ビルクリーニング
製品パッキング	オフィスアシスタント
ホームページ	パソコン操作

この件についての問合せ先
教育振興部特別支援教育課
電話043－223－4073

8月1日は「水の日」、8月1日から7日までは「水の週間」です。
千葉県では、「水についての考え」や「水の使い方」について中学生から作文を募集しています。

令和元年度　千葉県表彰式の様子

＊テ ー マ　『水について考える』（個別の題名は自由）

＊応募資格　令和３年度に県内在住・在学の中学生

＊原　　稿　４００字詰原稿用紙４枚以内
本文の前（原稿用紙枠内）に、①題名、②学校名（ふりがな）、
③令和２年度の学年、④氏名（ふりがな）を明記して下記まで郵送

＊募集期間　令和３年３月１日（月）　～　令和３年５月７日（金）

＊送 付 先　〒260-8667　千葉市中央区市場町１番１号（住所省略可）
千葉県　総合企画部　水政課　水資源・水利班

＊賞　千葉県地方審査会表彰（予定）

最優秀賞　１編
優 秀 賞　２編
奨 励 賞　２編
学 校 賞　若干校
参 加 賞　応募者全員

※上位に入賞した作文は、本県の優秀作文として国の中央審査会へ推薦します。
※学校として作文に取組み、ご応募いただいた中から、「学校賞」を表彰しています。
“作文”や“水に関する授業”の課題等としてぜひ取り組んでみてください。

＊入賞発表　６月中旬頃に所属する中学校を通じて入賞者へ通知します。

＊表　　彰　「水の週間」期間中(8/1～7)に実施予定の「千葉県地方審査会表彰式」において賞状等を授与します。

※詳しくは千葉県水政課ホームページをご覧ください。
過去の内容や水に関する学習の資料に利用できる「水のはなし」なども掲載しています。
http://www.pref.chiba.lg.jp/suisei/sakubun/index.html

水の作文コンクール　千葉県　検索

【主　催】内閣官房水循環政策本部、国土交通省、千葉県
【後　援】文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、水の週間実行委員会、（独）水資源機構、全日本中学校長会

この件についてのお問い合わせ
総合企画部水政課水資源・水利班
電話：０４３－２２３－２６８８

目次へ